

温室効果ガス削減計画

1 事業の概要

(1) 事業所の名称

三菱重工業株式会社 三原製作所

(2) 事業所の所在地

広島県 三原市糸崎南一丁目1番1号

(3) 業種

印刷, 製本, 紙工機械製造業(2644)

(4) 事業所位置図

別添1のとおり

2 計画の期間

本計画の期間は、平成25年度を基準年度とし、平成27年度から平成31年度までの5年間とする。

3 計画の基本的な方向

1. 基本方針

三菱重工業(株)三原製作所は環境保全への取り組みを事業経営の最重要課題のひとつと位置付け、事業活動の全ての領域で、環境への負荷の低減に努めるとともに、国、内外の環境を保全する技術や製品を開発、提供することにより、持続的発展が可能な社会の構築に貢献する。

2. 方針

- 省エネルギー、省資源の推進 (ISO14001の推進)
- 環境目標を設定し、製品の技術的な改善
- 環境関連法規、条例の遵守
- 廃棄物の排出抑制 (ゼロエミッションの継続)
- 環境・エネルギー問題の解決に貢献する技術開発
- 環境教育、広報活動を通じ、社員へ意識向上

4 温室効果ガスの排出状況（二酸化炭素換算）

【エネルギー起源二酸化炭素】

温室効果ガスの種類	温室効果ガス排出量 (t-CO ₂)		
	平成2年度	基準年度	直近年度
		平成25年度	平成26年度
二酸化炭素	49,395	13,102	12,121

【非エネルギー起源二酸化炭素】

温室効果ガスの種類	温室効果ガス排出量 (t-CO ₂)		
	平成2年度	基準年度	直近年度
		平成 年度	平成 年度
二酸化炭素			

【その他温室効果ガス】

温室効果ガスの種類	温室効果ガス排出量 (t-CO ₂)		
	平成2年度	基準年度	直近年度
		平成25年度	平成26年度
メタン		1.62	1.1
一酸化二窒素		6.12	3.44
HFC PFC SF6	1.24	1.24	1.24

5 温室効果ガスの総排出量に関する数量的な目標

《排出量を削減目標とする場合》

単位：排出量 (t-CO₂)，削減率 (%)

温室効果ガスの種類	基準年度 (平成 年度)		削減目標		目標年度 (平成 年度)
	排出量 (a)	削減率 (b)	削減量 (c)	排出見込量 (d)	
エネルギー起源CO2					0
非エネルギー起源CO2					0
メタン					0
一酸化二窒素					0
フロン類					0
温室効果ガス 実排出量総計					0
温室効果ガス みなし排出量					0
目標設定の考え方					

※ 削減率(b) = (c) / (a) × 100 削減量(c) = (a) - (d)

《原単位を削減目標とする場合》

原単位算定に用いた指標：

実績工数

単位：排出量(t-CO₂)，原単位数 (t-CO₂/万時間)，削減率 (%)

温室効果ガスの種類	基準年度 (平成 25 年度)			原単位 削減目標	基準年度 (平成31年度)		
	排出量 (a)	原単位数 数値 (b)	原単位 (c)	削減率 (d)	排出 見込量 (e)	原単位 見込数値 (f)	原単位 見込 (g)
エネルギー起源CO2	13,102	63.48	206	6.0	12,316	63.48	194
非エネルギー起源CO2				#VALUE!			
メタン				#VALUE!			
一酸化二窒素				#VALUE!			
フロン類				#VALUE!			
総排出量				#VALUE!			
エネルギー消費原単位 (原油換算 k l)	-	-		0.0	-	-	
目標設定の考え方	毎年前年度比原単位1%削減						

※ 削減率(d) = {(c) - (g)} / (c) × 100 原単位(c) = (a) / (b) 原単位見込(g) = (e) / (f)

6 温室効果ガスの排出の抑制に係る措置項目及び目標並びに具体的な取組み等

○ 温室効果ガスの排出抑制に向けた取組み

	項 目	数値目標	具体的な取組み
1	電気使用量の削減	電気使用量をH25年度比6%削減	1. 高効率変圧器の導入 2. 工場照明のLED化推進 3. 冷暖房空調の運用徹底 4. 省エネパトロールの実施
2			
3			
4			

※ 原単位で作成する場合は、数値目標欄の記載例中、「使用量」を「原単位」に適宜読み替えること

○ 温室効果ガスみなし排出量の抑制に関する取組み（環境価値の活用等）

	種 類	合 計 量
1		
2		
3		

○ その他の取組み

	項 目	数値目標	具体的な取組み
1	廃棄物最終処分率の低減	最終処分率0.5%未満	焼却等中間処理後の残渣も含めて処理委託した産業廃棄物のリサイクル処理を行う産業廃棄物処分業者を可能な限り選定する。
2			
3			

※ 環境に配慮した実践的な取組みなどをされていれば記入してください。

7 温室効果ガス削減計画の推進並びに実施状況の点検及び評価に関する方法等

(1) 推進・点検体制

別添2 環境保全活動実行組織図を参照願います。

(2) 実施状況の点検・評価

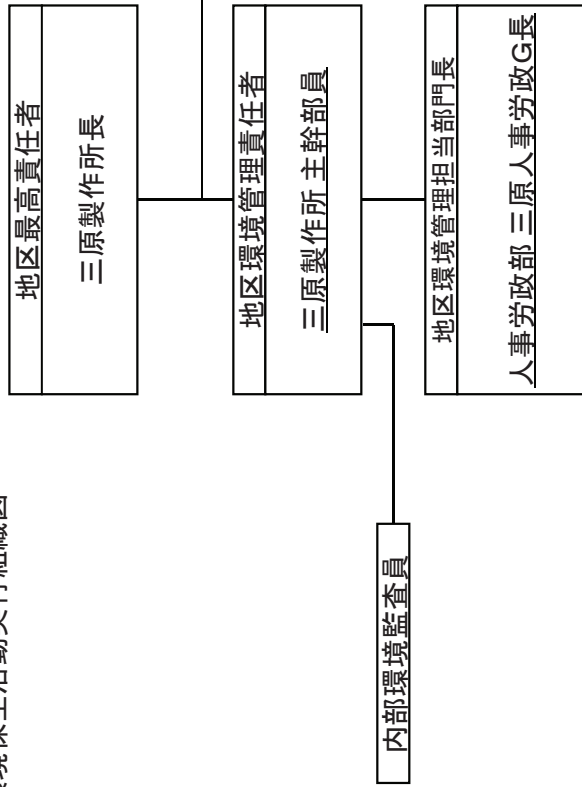
三原人事労政Gを中心とし、三原地区環境保全活動実施計画書のフォローを年2回実施(10月・1月)し、年度毎のまとめとしてマネジメントレビューを作成。結果を環境管理責任者及び、最高責任者に報告後承認を得て新年度の所環境保全活動実施計画書案を作成。

毎年環境保全委員会を開催し新年度の三原地区環境保全活動実施計画案を審議後最高責任者に報告。更に本社環境課に報告を行い全社のまとめを行う。

各課(G)は毎月フォローを実施し、3ヵ月毎にフォロー結果をISO14001事務局に報告

(3) 計画書等の公表

当三原地区LotusNotesシステム上のISO14001掲示板に掲載する。(各種エネルギー計画値及び実績値等)



地区環境委員会

【委員長】 地区環境管理責任者

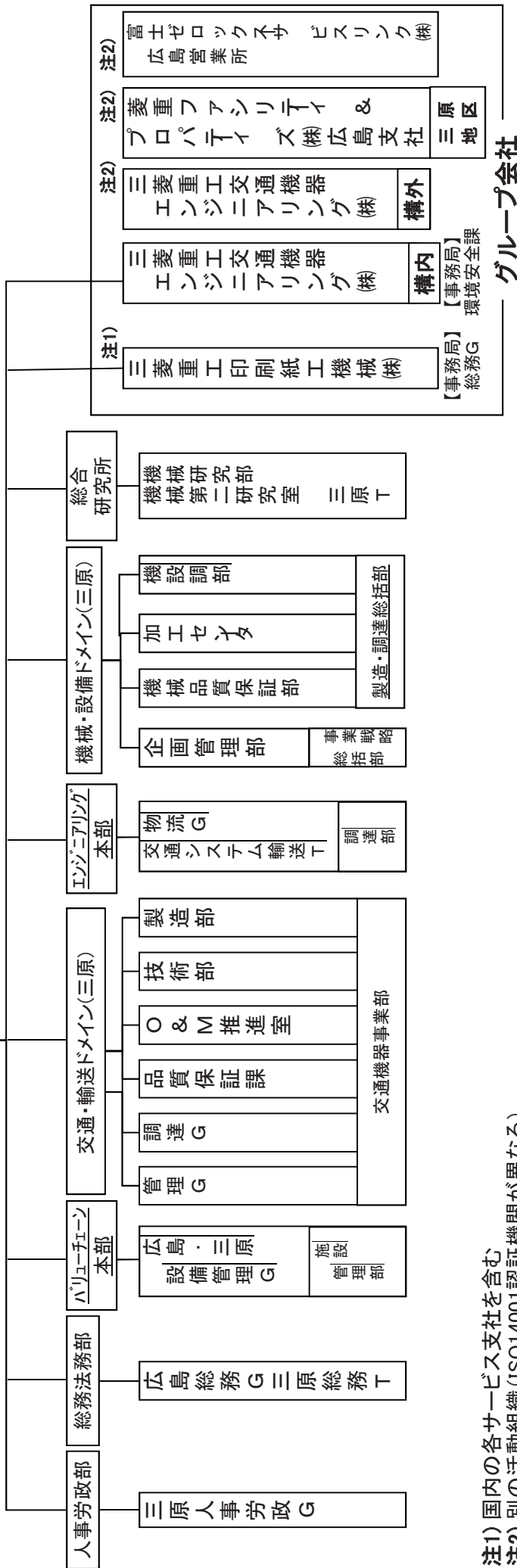
【委員】

- 広島 総務G
- VC本部施設管理部
- 交機部
- E本部エンジン調達部
- 機設企画管理部
- 機品部
- 加工センター
- 機設調部
- 総研機二研三原
- 印刷紙工
- MHI- TES

三原T統括
: 三原T統括
: 広三設管G三原T統括
: O&M推進室長、技術部部長、製造部長
交機管G長、交機品証課長、車空調G長
: 交シ物流T統括
: 広三業G三原T統括
: 機品品主席T統括
: 三原工作課長
: 次長
: 三原T統括
: 環境管理責任者

【幹事】 地区環境管理担当部門長

【事務局】 地区環境管理担当部門



注1) 国内の各サービス支社を含む
注2) 別の活動組織(ISO14001認証機関が異なる)